

BASF

We create chemistry

BASF in Japan Report 2023 〈日本語版〉



目次

本レポートについて	2
BASFグループ2023概要	3
日本のBASF	4
日本の主な連絡先	9
BASFグループ10年間の業績概要	10

**表紙の写真:**

BASF日本のアグロソリューション事業部が提供するBASFの栽培管理支援システム「xarvio® FIELD MANAGER」は、衛星画像とAI解析により農業者に最適な栽培管理を提案・支援することで持続可能な農業の実現に貢献します。埼玉県に拠点を置く農業生産法人ヤマザキライスもこのAI搭載型農業プラットフォームを活用して水稲栽培の最適化を図り、収量アップを実現しました。BASFは米など特定の輪作体系「クロープシステム」に重点的に取り組み、デジタルや農業などの幅広いポートフォリオを活用し農業者を包括的に支援しています。

写真:左からBASFジャパン アグロソリューション事業部の平尾綾子、ヤマザキライスの山崎能央氏、BASFジャパン アグロソリューション事業部の関根真樹

本レポートについて

「BASF in Japan – Report」は、BASFの日本での活動を経済・環境・社会という持続可能性の3つの側面からまとめた簡易レポートです。年1回発行しており、本レポートの対象期間は2023年度です。また、BASFグループ全体の概要と業績についても記載しており、国際財務報告基準(IFRS)および該当箇所についてはドイツ商法とドイツ会計基準(GAS)の要件に準拠して作成されています。連結対象となる共同支配事業の排出量、廃棄物、エネルギー・水使用量は、BASFの持分に比例する分が報告されています。従業員数は、BASFグループの連結対象会社の2023年12月31日時点の従業員数の合計です。

BASFグループ

2023 – 概要

売上高

689億ユーロ

(2022:873億ユーロ)

特別項目控除前営業利益

38億ユーロ

(2022:69億ユーロ)

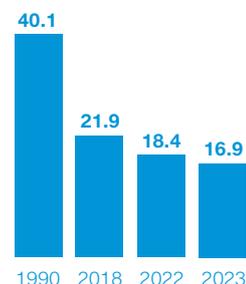
投下資本利益率 (ROCE)

4.5%

(2022:10.0%)

温室効果ガス排出量

CO₂換算 (百万トン)



減価償却費および特別項目控除前営業利益

77億ユーロ

(2022:108億ユーロ)

フリーキャッシュフロー

27億ユーロ

(2022:33億ユーロ)

設備投資額

52億ユーロ

(2022:41億ユーロ)

従業員数 (12月31日時点)

111,991人

(2022:111,481人)

研究開発費

21億ユーロ

(2022:23億ユーロ)

人件費

110億ユーロ

(2022:114億ユーロ)

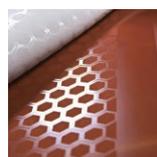
事業セグメントデータ



ケミカル

百万ユーロ

項目	2023	2022
売上高	10,369	14,895
特別項目控除前営業利益	361	1,956



サーフェステクノロジー

百万ユーロ

項目	2023	2022
売上高	16,204	21,283
特別項目控除前営業利益	938	902



マテリアル

百万ユーロ

項目	2023	2022
売上高	14,149	18,443
特別項目控除前営業利益	826	1,840



ニュートリション&ケア

百万ユーロ

項目	2023	2022
売上高	6,858	8,066
特別項目控除前営業利益	107	618



インダストリアル・ソリューション

百万ユーロ

項目	2023	2022
売上高	8,010	9,992
特別項目控除前営業利益	625	1,091



アグロソリューション

百万ユーロ

項目	2023	2022
売上高	10,092	10,280
特別項目控除前営業利益	1,563	1,220

日本のBASF

概要

BASFは1888年より日本市場のパートナーとして事業活動を行っています。国内にも生産および研究開発拠点を構え、自動車、建設、医薬品・医療機器、電機・電子、包装材、パーソナルケア・ホームケア、農業・食品など、ほぼすべての産業に製品とソリューションを提供し、国内およびグローバル市場で活躍する日本のお客様の成功に貢献しています。

日本との関わりは、BASFが初めて日本市場にアプローチした明治時代に遡ります。当時、BASFの代表的な合成染料である「インディゴ・ピュアBASF」が日本に輸入され、「紺がすり」にも採用されました。1949年にはBASFジャパン株式会社の母体となるカラケミー貿易株式会社が設立されました。2024年10月には、創立75周年を迎えます。

現在、BASFは国内に6カ所の生産拠点を設けており、例えば、神奈川県の大塚では自動車用塗料の製造・開発、茨城県の北利根ではパーソナルケア製品向けの油性剤およびワックスの製造・開発、三重県の四日市市霞では熱可塑性ポリウレタン(TPU)の製造・開発、そして、同四日市市六呂見ではディスパージョンおよびレジン製の製造・開発を行っています。また、触媒事業の一環で貴金属の取引を行うBASF・メタルズ・ジャパン株式会社も設けています。

加えて、日本のパートナーとの協業もっており、戸田工業株式会社との合併であるBASF戸田バッテリーマテリアルズ合同会社は、リチウムイオン電池用正極材料の製造・販売を行っています。また、株式会社イノアックコーポレーションとの合併であるBASF INOAC ポリウレタン株式会社は、ポリウレタン原料、システムズ、エラストマー等を、住友金属鉱山株式会社との合併であるエヌ・イー ケムキャット株式会社は触媒を製造・販売しています。

研究活動においても、日本はBASFのグローバルネットワークで重要な役割を果たしており、エンジニアリングプラスチック・イノベーションセンターとクリエイションセンターを併設する横浜イノベーションセンターを横浜市に、ディスパージョンおよびレジンの研究開発拠点六呂見R&Dセンターを四日市市に設置しています。さらに、山武市には、農業製品の研究拠点「アグソリューションファーム成東」を構えています。



リチウムイオン電池用正極材料の製造・販売を行っているBASF戸田バッテリーマテリアルズ合同会社小野田事業所



農業向けソリューションの研究拠点「アグソリューションファーム成東」



素材を体感できる場を提供し、お客様のイノベーションを支援するクリエイションセンター

2023年の売上高（顧客所在地別）

18億ユーロ

従業員数（2023年12月31日現在）

920人

主な生産・研究開発拠点

BASFジャパン／戸塚事業所

- 1964年設立
- 自動車用塗料の製造、開発

BASFジャパン／北利根工場

- 1970年設立
- 油性剤およびワックスの製造、開発

BASFジャパン／四日市霞工場

- 1989年設立
- 熱可塑性ポリウレタン(TPU)の製造、開発

BASFジャパン／四日市六呂見事業所

- 1963年設立
- ディスパーションおよびレジン¹の製造、開発

BASF戸田バッテリーマテリアルズ／小野田事業所

- 2003年設立
- 正極材および前駆体の製造、開発

BASF戸田バッテリーマテリアルズ／北九州事業所

- 2002年設立
- 正極材の製造

BASFジャパン／横浜イノベーションセンター

エンジニアリングプラスチック・イノベーションセンター

- 2012年設立
- エンジニアリングプラスチック分野でのテクニカルサポート

クリエイションセンター

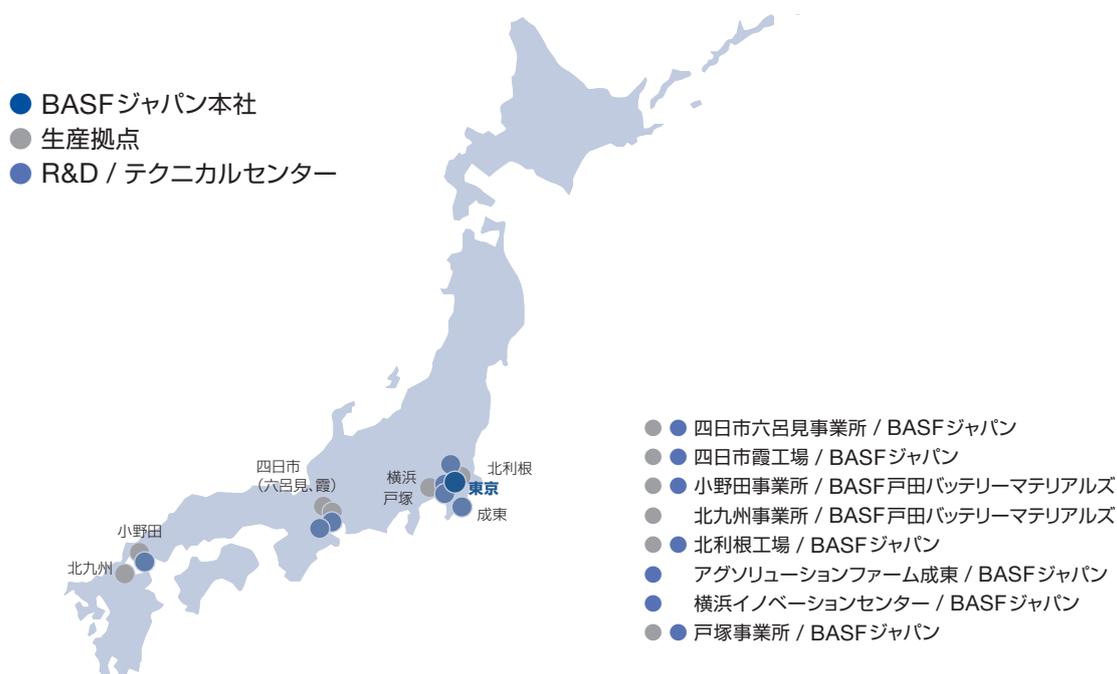
- 2019年開設¹
- 素材を体感できる場を提供し顧客のイノベーションを支援

BASFジャパン／アグソリューションファーム成東

- 2017年開設
- 農薬製品の実圃場に近い条件での試験の実施

¹ 2014年に開設したデザインファブリーク東京を改組

6生産拠点



日本の主要産業を支える BASFのソリューション

日本では、BASFがグローバルに展開するすべての事業セグメント、「ケミカル」「マテリアル」「インダストリアル・ソリューション」「サーフェステクノロジー」「ニュートリション&ケア」「アグロソリューション」を展開しています。幅広い事業ポートフォリオを通して、自動車、建設、医薬品・医療機器、電機・電子、包装材、パーソナルケア・ホームケア、農業・食品など、ほぼすべての産業に製品とソリューションを提供し、国内およびグローバル市場で活躍する日本のお客様の成功に貢献しています。

自動車産業

BASFは、化学品業界における世界最大の自動車部品向けサプライヤーです。日本においても、e-モビリティから内外装に至るまで、あらゆる用途に向けた製品を提供し、製造時の環境への影響を軽減する様々なソリューションを提案しています。



BASFのソリューションは、e-モビリティ、車両の軽量化、熱管理、燃費効率、排気ガスの削減などに役立つイノベーションにも貢献しています。

主な製品例：

エンジニアリングプラスチックとプラスチック添加剤（エンジン周辺、内外装、e-モビリティ、サスペンション関連部品向け）、バッテリー材料（リチウムイオン電池向け）、ポリウレタン（内装部品、サスペンション内の制振材料）、冷却液/ブレーキ液、ガソリン燃料添加剤、自動車用塗料、自動車補修用塗料、自動車触媒、潤滑油用添加剤など。

その他の産業に向けたソリューションについては、こちらをご覧ください。



BASFのサステナビリティ

サステナビリティに向けた
BASFの取り組みについては、
こちらをご覧ください。



建設産業

BASFは、建設業界の業務効率化を促すソリューションを提供し、作業効率の向上、エネルギー消費量の抑制、建物の耐用年数および耐久性の向上により、持続可能な建造物に貢献しています。



BASFは持続可能な建造物に貢献する革新的なソリューションを建設産業に提供しています。

主な製品例：

断熱材、吸音材、エンジニアリングプラスチック、光安定剤、プラスチック添加剤、湿潤剤、ディスパージョンなど。

医薬品・医療機器産業

日本における人口構成や医療行政の変化を背景に、BASFは、ますます高まる医療・健康産業のニーズに貢献する製品の開発に取り組んでいます。安全で持続可能な医薬品・バイオ製剤製造を可能にする有効成分やドラッグデリバリーに優れた革新的な添加剤を提供するほか、医療や健康管理、介護のシーンにも活躍の場を広げています。



BASFは、医薬品および健康管理の分野におけるイノベーションを支援しています。

主な製品例：

医薬品有効成分および医薬品添加剤：中間体、試薬、ボラン、アルコール酸塩、保護基、溶媒、高純度鉄塩を含む化学原料、触媒および貼付剤向け粘着剤など。

電機・電子・情報産業

日本は電子分野における世界的なリーダーであり、BASFはこの分野においても幅広い製品を提供しています。ディスプレイ関連のソリューションのほか、センサーや情報処理デバイスを通じて、デジタル化に向けた最先端のイノベーションを提供しています。



BASFは、電子業界において幅広いソリューションを提供することにより、サステナビリティとイノベーションの実現を支援しています。

主な製品例：

ディスプレイ向け素材：カラーフィルター用光重合開始剤、光学フィルム用途の反応性液晶モノマーおよび光配向膜用組成物など。
社会インフラ向け素材：電気機器向け潤滑油および油圧油、金属加工用添加剤など。
電機電子部品：エンジニアリングプラスチックなど。
センサーソリューション：近赤外センサー、近赤外分光ソリューションなど。

包装材産業

BASFは、食品を長持ちさせ、鮮度を封じ込める包装材向け製品や、意匠性向上・軽量化に寄与する素材を提供しています。また、認証を取得している生分解性プラスチックを生産し、持続可能な包装材の用途に貢献しています。



BASFのソリューションは、包装材の発展に貢献しています。

主な製品例：

リサイクルおよび生分解可能な包装材料：生分解性プラスチック、ラミネート代替内面コート剤、ポリオレフィン樹脂向けマテリアルリサイクル用添加剤パッケージなど。

パーソナルケア・ホームケア産業

BASFは、スキンケアやヘアケア製品、洗濯洗剤などの日用品に欠かすことのできない原料を提供し、人々の快適な生活を支えています。



BASFの製品は日常生活を支えています。

主な製品例：

スキンケア / ヘアケア用化粧品原料：界面活性剤、ポリマー、油性剤、有効成分、紫外線吸収剤など。
ホームケア / 業務用洗剤原料：界面活性剤、分散剤、キレート剤、バイオサイド、蛍光増白剤、安定剤、酵素など。

農業・食品産業

BASFは効率の良い作物栽培を可能にする農業・農業資材やデジタル農業ソリューション、栄養素を補完するビタミン類、より持続可能な畜産に貢献する飼料添加物などを通して、日本の農業・食品産業を支えています。



BASFは、日本各地の農業者と連携しています。

主な製品例：

農業用殺菌剤、殺虫剤、除草剤、デジタル農業ソリューション“xarvio®”、食品添加物、飼料添加物など。

日本のBASF 主要データ2023

		2023	2022	2021
業績				
売上高(顧客所在地別)	百万ユーロ	1,785	2,585	2,092
社員(12月31日時点)				
従業員数	人	920	923	920
実習生数	人	-	-	-
年齢別従業員構成比				
26歳未満	%	1.8	1.4	1.8
26歳~39歳	%	26.7	27.0	25.9
40歳~54歳	%	47.9	50.5	52.0
55歳以上	%	23.6	21.1	20.3
性別				
女性	%	22.2	22.0	21.5
男性	%	77.8	78.0	78.5
寄付金および賛助金				
総支出	ユーロ	7,327	112,138	4,000
エネルギー使用量				
電気使用量	MWh	105,620	115,784	110,850
蒸気使用量	MWh	17,428	20,344	19,825
燃料使用量	MWh	8,167	9,603	9,787
排ガス				
温室効果ガス	トン、CO ₂ 換算	33,596	47,895	51,168
大気汚染物質(CH ₄ 除く)	トン	37.07	29.43	30.52
排水、水使用量				
有機物排出量(COD)	トン	0.57	0.86	0.62
窒素排出量	トン	0.15	0.13	0.21
リン排出量	トン	0.03	0.04	0.03
重金属排出量	トン	0.26	0.49	0.00
水使用量	百万立方メートル	0.38	0.41	0.38
製造用水使用量	百万立方メートル	0.35	0.37	0.35
冷却水使用量	百万立方メートル	7.46	8.62	0.03
廃棄物				
廃棄物排出量	トン	19,422 ^a	5,438	5,724
廃棄物回収量	トン	17,954 ^a	4,192	4,276
廃棄物処理量	トン	1,468	1,246	1,448
労働安全				
20万労働時間当たりの業務プロセス関連重大傷害の発生率 - 正社員、契約・派遣社員、請負業者		0.00	n/a	n/a
正社員、契約・派遣社員および協力会社社員の死亡事故		0	0	0
プロセス安全				
20万労働時間当たりの重大なプロセス逸脱の発生率 - 正社員、契約・派遣社員、請負業者		0.00	n/a	n/a

a 2023年における廃棄物の排出量と回収量の増加は、BASF戸田バッテリーマテリアルズ合同会社の小野田事業所における、正極材料の生産能力拡大のための新生産ライン建設によるものです。

日本の主な連絡先

BASF ジャパン株式会社

本社
103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号
OVOL日本橋ビル3階
TEL:03-5290-3000
FAX:03-5290-3333

BASF・メタルズ・ジャパン株式会社

本社
105-6290 東京都港区愛宕2丁目5番1号
愛宕グリーンヒルズMORIタワー24階
TEL:03-3578-6661
FAX:03-5425-7481

BASF 戸田バッテリーマテリアルズ合同会社

本社
756-0847 山口県山陽小野田市新沖1丁目1番1号
TEL:0836-55-1011
FAX:0836-55-1014

BASF INOAC ポリウレタン株式会社

本社・工場
441-1347 愛知県新城市川田字本宮道1番196号
TEL:0536-23-5511
FAX:0536-23-0300

エヌ・イー ケムキャット株式会社

本社
105-5127 東京都港区浜松町2丁目4番1号
世界貿易センタービルディング南館27階
TEL:03-3435-5490
FAX:03-3435-5484

その他の拠点についてはこちらをご参照ください。



詳細情報

本レポートのPDFデータは、BASFジャパンのウェブサイト(下記二次元コード)から入手可能です。



発行元

BASFジャパン
コミュニケーションズ部

連絡先

BASF ジャパン株式会社 コミュニケーションズ部
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号
OVOL日本橋ビル3階
TEL:03-5290-3000



BASFは化学業界の世界中のレスポンシブル・ケアの取り組みを支援しています。

BASFグループ10年間の業績概要

百万ユーロ

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
売上高と利益											
売上高	74,326	70,449	57,550	61,223 ^a	60,220 ^b	59,316	59,149	78,598	87,327	68,902	
営業利益 (EBIT、利息・税金控除前利益)	7,626	6,248	6,275	7,587 ^a	5,974 ^b	4,201	-191	7,677	6,548	2,240	
税引前利益	7,203	5,548	5,395	6,882 ^a	5,233 ^b	3,302	-1,562	7,448	1,190	1,420	
継続事業からの税引後利益	-	-	-	5,592 ^a	4,116 ^b	2,546	-1,471	6,018	-391	379	
非継続事業からの税引後利益	-	-	-	760 ^a	863 ^b	5,945	396	-36	-	-	
税引後利益	5,492	4,301	4,255	6,352	4,979	8,491	-1,075	5,982	-391	379	
当期純利益	5,155	3,987	4,056	6,078	4,707	8,421	-1,060	5,523	-627	225	
減価償却費および特別項目控除前営業利益 (特別項目控除前EBITDA)	10,454	10,508	10,327	10,378 ^a	9,721 ^b	8,324	7,435	11,348	10,762	7,671	
特別項目控除前営業利益	7,357	6,739	6,309	7,645 ^a	6,281 ^b	4,643	3,560	7,768	6,878	3,806	
設備投資と減価償却											
有形・無形固定資産の増加	7,285	6,013	7,258	4,364	10,735	4,097	4,869	4,881	4,967	6,006	
うち有形固定資産分	6,369	5,742	4,377	4,028	5,040	3,842	4,075	4,410	4,842	5,864	
有形・無形固定資産の減価償却額	3,417	4,401	4,251	4,202	3,750	4,146	6,685	3,678	4,200	4,941	
うち有形固定資産分	2,770	3,600	3,691	3,586	3,155	3,408	5,189	3,064	3,549	4,062	
従業員数											
人	113,292	112,435	113,830	115,490	122,404	117,628	110,302	111,047	111,481	111,991	
人件費											
	9,224	9,982	10,165	10,610	10,659	10,924	10,576	11,097	11,400	10,950	
研究開発費											
	1,884	1,953	1,863	1,843 ^a	1,994 ^b	2,158	2,086	2,216	2,298	2,130	
主要データ											
一株当たり当期純利益	ユーロ	5.61	4.34	4.42	6.62 ^a	5.12	9.17	-1.15	6.01	-0.70	0.25
調整後一株当たり当期純利益	ユーロ	5.44	5.00	4.83	6.44 ^a	5.87	4.00	3.21	6.76	6.96	2.78
営業活動によるキャッシュフロー		6,958	9,446	7,717	8,785	7,939	7,474	5,413	7,245	7,709	8,111
特別項目控除前のEBITDA マージン	%	14.1	14.9	17.9	17.5 ^a	15.4 ^b	14.0	12.6	14.4	12.3	11.1
総資産純利益率 (ROA)	%	11.7	8.7	8.2	9.5 ^a	7.1	4.5	-1.2	9.5	2.1	2.8
株主資本純利益率 (ROE after tax)	%	19.7	14.4	13.3	18.9	14.1	21.6	-2.8	15.6	-0.9	1.0
投下資本利益率 (ROCE)	%	-	-	-	15.4	12.0 ^b	7.7	1.7	13.7	10.0	4.5
利益処分											
BASF SEの当期純利益 ^c		5,853	2,158	2,808	3,130	2,982	3,899	3,946	3,928	3,849	7,434
配当金		2,572	2,664	2,755	2,847	2,939	3,031	3,031	3,072	3,035	3,035 ^d
一株当たり配当金	ユーロ	2.80	2.90	3.00	3.10	3.20	3.30	3.30	3.40	3.40	3.40 ^d
期末発行済株式数											
百万株	918.5	918.5	918.5	918.5	918.5	918.5	918.5	918.5	893.9	892.5	

a 2017年の数値は、石油およびガスに関する活動を非継続事業として表示したことに伴い修正再表示されています。

b 2018年の数値は、建設化学品の事業活動を非継続事業として表示したことに伴い修正再表示されています。

c ドイツの一般会計原則 (GAAP) に基づいて算出されています。

d 2023年12月31日現在の発行済株式数 (892,522,164株) に基づいています。



このページの写真：

ドイツ・ルートヴィヒスハーフェンのフェアプラント拠点（統合生産拠点）。敷地面積約10km²、世界最大の統合化学コンビナートです。約200の生産プラントが密接に結び付けられ、複雑かつ高度に精製された製品を生産するための環境が整えられています。この拠点は、BASFグループの技術プラットフォームおよびコンピテンセンターであり、製品、手法、プロセスにおけるイノベーションの重要な源です。

